

令和3年度 市政アンケートモニター調査 反映状況

	調査項目（実施課）	反映状況
1	ホビーのまち静岡に関するアンケート調査 （産業振興課）	《令和3年12月 実施》 模型・プラモデル以外で関心のある本市のものづくり産業として「缶詰」と回答した人が最も多かったことから、「ものづくりキャリア教育推進事業」において実施している、本市の特徴的な産業に従事する方を講師に招く市内小学校での出前授業のメニューに「缶詰」を加え、授業を実施した。
2	買物環境・商店街に関するアンケート調査 （商業労政課）	《令和5年3月 実施》 「商店街が寂れてきた」「近くに商店街がない」との回答が80%以上であったことを踏まえ、新たに策定した「第2次商業振興基本計画」では、「次代を見据えた商店街の振興」を基本政策の1つとし、魅力創出支援のための補助支援メニューの見直しや、地域コミュニティとしての機能強化に取り組んでいくことを盛り込んだ。
3	静岡市のお茶に関するアンケート調査 （農業政策課）	《令和4年5月 実施》 「静岡市のお茶」の振興のために特に重要と考えられる取り組みとして、「お茶に関する積極的な情報発信」（39.3%）、「国内での販路拡大・プロモーション」（30.3%）という意見があったことから、新茶PRイベント「茶縁」及び関東圏の日本茶インストラクターを対象にしたオンラインセミナーを開催し、「静岡市のお茶」に関する情報を市内外に広く発信した。 《令和5年3月～ 実施》 「静岡市がお茶のまちであることを誇りに思う」（90%）という設問は、第2次静岡市茶どころ日本一計画の目標指標となっているため、調査結果を計画の進捗状況把握、計画の中間見直し等へ活用した。
4	「まちは劇場」の推進に関するアンケート調査 （まちは劇場推進課）	《令和4年2月 実施》 「まちは劇場」という言葉を見聞きしたことがある人の割合は31.0%であったが、市民が主役のまちづくりを目指していることについて「よい」「ややよい」と回答した人が69.6%と、取組に対する肯定意見が多かったことから、さらなる共感者の増加を図るため、専用ホームページ「ON STAGE SHIZUOKA」の改修を行い情報発信力の強化を行うとともに、SNSを立ち上げ、情報発信を行っている。
5	市民の防犯意識に関するアンケート調査 （生活安全安心課）	《令和5年3月 実施》 「静岡市の治安がよくなっていると思う（「どちらかといえばよくなっていると思う」含む。）は18.6%と低く、また、「地域で行われている防犯活動に参加していない」と回答した方も77.2%であり、実際に防犯活動に携わっている人は少なかった。 さらに、犯罪被害者等支援のために設けられている各種相談窓口について、「知っているものはない」と回答した方が44.1%と半数近くの方が知らないという現状であった。 よって、市の防犯及び犯罪被害者等支援に関する施策を総合的に推進していくため、今回のアンケート結果を参考に、静岡市犯罪等に強いまちづくり推進審議会の審議結果等を踏まえ「第3次犯罪等に強いまちづくり基本計画」を策定した。
6	静岡駅南口駅前広場の再整備に関するアンケート調査 （市街地整備課）	《令和4年度～ 検討中》 静岡駅南口駅前広場利用者が、「課題だと思うところ」として「自家用車（送迎）が利用しにくい」という意見が53.5%と多かったことから、広場内における自家用車乗降スペースのあり方や、周辺道路の交通体系等について、南口再整備事業の計画へ反映させるため、引き続き検討している。 また、利用者が、「とても不便」「やや不便」と感じている理由として「快適に待てる場所がない」が76.9%と圧倒的に多かったことから、広場内における環境空間のあり方や空間確保の手法等について検討を進めている。 令和5年度から検討委員会を開催するため、アンケート結果を公の場での議論に活用していく。